

更新(10/3) :

スペイン語プログラムの
実習期間が変更されました。

2013 年度冬期実施
言語イメージョンプログラム「海外集中言語研修」
募集要項



立命館アジア太平洋大学

アカデミック・オフィス

2013 年 10 月

- 第 1 版 -

2013 冬 言語イマージョンプログラム一覧

英語イマージョン	オークランド大学 (ニュージーランド)	アデレード大学 (オーストラリア)	
担当教員	BLACKWELL James	REZKOVA Jana	
単位数	2 単位	4 単位	
募集人数	20 名(最少実施人数 10 名)	20 名(最少実施人数 10 名)	
実習期間 (移動日含)	2014 年 2 月 21 日(金)-3 月 16 日(日) 3 週間	2014 年 2 月 14 日(金)-3 月 23 日(日) 5 週間	
実習内容	<p>大学付属 ELA (English Language Academy)で、1日4時間、週5日、レベルに応じた英語クラスに参加し、英語力の向上を目指す。</p> <p>通常の英語クラスに加え、希望する学生は、週2回実施される Workshop(1回1時間)や、毎週金曜に開催される Conversation Club(1時間)への参加も可能。</p>	<p>週4日、大学付属の ESL コースでレベルに応じた英語クラスに参加し、英語力の向上を目指す。</p> <p>毎週金曜は、社会福祉施設等でボランティア活動や環境保護活動など、地域密着型フィールドスタディとして APU 特別授業に参加する。</p>	
授業形態	現地大学付属 ESL クラス	現地大学付属 ESL クラス + APU 特別クラス	
滞在形態	ホームステイ		
申請(受講)要件	<p>2011 年度加算: 英語準中級(A・B)あるいは英語中級(A・B)を 2013 年度秋 semester に履修中であること。(単位修得済み(履修免除済み)の場合は不可。)</p> <p>英語を母語としない学生</p>	<p>2011 年度加算: ・ 英語中級(A・B)あるいは準上級(A・B)を履修中または単位修得済み(履修免除済み)であること。</p> <p>2006 年度加算: ・ 英語中級 ・ 単位修得済み(履修免除済み)であること。</p> <p>----- または、申請時 TOEFL/ITP 480 以上あれば申請可</p> <p>・ 英語基準学生も申請可 ・ 英語を母語としない学生</p>	
費用	大学に支払うもの	<p>実習費: 約 2,850NZD (約 24 万円) 航空券代金: 約 145,000 円 保険代金: 約 11,000 円 合計: 約 396,000 円</p> <p>・ 内訳: 実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎 ・ 参加人数によって費用が変更する場合があります。 ・ オークランドは平日 2 食(朝夜)、週末 3 食、アデレードは毎日 3 食付。</p>	<p>実習費: 約 4,650AUD (約 43 万円) 航空券代金: 約 175,000 円 保険代金: 約 13,000 円 合計: 約 618,000 円</p>
	各自で支払うもの	<p>予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、福岡空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の空港最寄りでの宿泊費用、ホームステイで提供される以外の食費、現地での交通費、その他娯楽費など。</p>	
ビザについて	<p>・ 日本国籍の学生: 必要なし ・ その他国籍の学生: 各自確認</p>	<p>・ 日本国籍の学生: ビザ* は必要ないが事前の入国申請(ETA)が必要。受講決定後、オンライン申請を行う(20AUD) ・ その他国籍の学生: 各自確認</p>	

2013 冬 言語イマージョンプログラム一覧

AP 言語 イマージョン		中国語: 北京語言大学 (中国 北京)	韓国語: 高麗大学 (韓国 ソウル)
担当教員		趙 煒宏	牧野 美希
単位数		2 単位	2 単位
募集人数		20 名(最少実施人数数 10 名)	20 名(最少実施人数 7 名)
実習期間 (移動日含)		2014 年 2 月 23 日(日)-3 月 22 日(土) 4 週間	2014 年 2 月 16 日(日)-3 月 16 日(日) 4 週間
実習内容		<p>外国人留学生向けコースで、一日 4 時間、週 5 日、レベルに応じた中国語クラスに参加し、中国語力の向上を目指す。</p> <p>午後は、臉譜や剪紙などの民間工芸の実習等、伝統文化理解に関する講座などが行われる。週末にはフィールドトリップに参加し、中国文化の理解を深める。</p>	<p>午前には、会話中心の表現に重点をおいた授業を展開し、午後には、言語機能の訓練(聞き取り、会話、読解、作文)、発音強化、発表を中心とした 授業を行う。</p> <p>また、学生交流会、韓国料理作り、韓紙工芸、韓国文化特別講義、韓国ミュージカル観覧および韓国シティーツアーなども実施され、生の韓国語、韓国社会、韓国文化に触れる。</p>
授業形態		外国人留学生向けコース (午後のアクティビティは APU 特別クラス)	APU 特別クラス
滞在形態		大学学生寮	大学周辺宿泊施設
申請(受講)要件		<ul style="list-style-type: none"> 中国語 I あるいは II を履修中、または単位修得済(履修免除済)であること。 中国語を母語としない学生 	<ul style="list-style-type: none"> 韓国語 I あるいは II を履修中または単位修得済(履修免除済) であること。 韓国語を母語としない学生
費用	大学に 支払うもの	実習費: 約 11,000 円 (約 18.5 万円) 航空券代金: 約 70,000 円 保険代金: 約 11,000 円 ビザ申請料金: 約 9,000 円(日本国籍の場合) 合計: 約 275,000 円	実習費: 約 2,050,000 ウォン (約 19.5 万円) 航空券代金: 約 45,000 円 保険代金: 約 11,000 円 合計: 約 251,000 円
	各自で 支払うもの	<ul style="list-style-type: none"> 内訳: 実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎 参加人数によって費用を変更する場合があります。 <p>予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、福岡空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の空港最寄りでの宿泊費用、現地での交通費・食費、娯楽費など。</p>	
ビザについて		<ul style="list-style-type: none"> 大学を通して学生ビザを申請。 国籍によってビザ要件、料金が異なる。 詳細は P.7 を参照。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国籍の学生: 必要なし ビザが必要な国籍の学生は、大学を通して申請。

2013 冬 言語イマージョンプログラム一覧



AP 言語イマージョン		マレー語、インドネシア語: LIA 外国語大学 (インドネシア ジャカルタ)	スペイン語: メキシコ国立自治大学 (メキシコ タスコ)
担当教員		NOVIYANI Prih Handay	Bolanos Lopez Alfredo
単位数		2 単位	2 単位
募集人数		15 名 (最少実施人数: 各レベル 4 名)	20 名 (最少実施人数 10 名)
実習期間 (移動日含)		2014 年 2 月 15 日(土) - 3 月 16 日(日) 4 週間	2014 年 2 月 8 日(土) - 3 月 10 日(月) 4 週間 10/3 更新されました。
実習内容		<p>会話や聴解力の練習、プレゼンテーションや文法練習を通して、実践的インドネシア語を学習する。</p> <p>また、ランゲージパートナーとのアクティビティ、週末を利用したホームステイ&フィールドトリップや、毎週金曜日に実施されるスタディツアーでのリサーチを通じて、現地の人々とふれあいながら文化理解を深め言語運用能力の強化を目指す。</p>	<p>クラスでは、実践的なスペイン語の学習を行う他、史跡や文化施設等を訪問し、メキシコ文化についての理解も深め、更なる言語能力の強化を目指す。</p> <p>【注意】 実習期間が冬セッション期間および 2/12、2/13 の追試験日と重複するため、受講者は冬セッション科目の履修、追試験受験をすることができません。</p>
授業形態		APU 特別クラス	
滞在形態		大学周辺宿泊施設	ホームステイ or 大学周辺宿泊施設
言語申請(受講)要件		<ul style="list-style-type: none"> マレー・インドネシア語初学者(学習経験は不問) マレー・インドネシア語 あるいは を履修中、もしくは単位修得済み(履修免除済み)であること。 マレー・インドネシア語を母語としない学生 	<ul style="list-style-type: none"> スペイン語初学者(学習経験は不問) スペイン語 、 、III のいずれかを履修中もしくは単位修得済み(履修免除済み) スペイン語を母語としない学生
費用	大学に支払うもの	<p>実習費: 約 17,350,000 ルピア (約 15.5 万円) 航空券代金: 約 90,000 円 保険代金: 約 11,000 円 ビザ申請料金: 約 15,000 円(日本国籍の場合) 合計: 約 271,000 円</p> <p>・ 内訳: 実習費、教材費、フィールドトリップ、宿泊費、現地空港送迎 ・ 参加人数によって費用が変更する場合があります。</p>	<p>実習費: 約 2,000USD (約 20 万円) 航空券代金: 約 230,000 円 保険代金: 約 11,000 円 合計: 約 441,000 円</p>
	各自で支払うもの	<p>予防接種にかかる費用、入国申請・ビザ申請・領事館面接に関わる費用、福岡空港までの往復交通費、出発前日および帰国日の空港最寄りでの宿泊費用、現地での交通費・食費、娯楽費など。</p>	
	ビザについて	<ul style="list-style-type: none"> 大学を通して学生ビザを申請。 国籍によってビザ要件、料金が異なる 詳細は P.7 を参照。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国籍の学生: 必要なし ビザが必要な国籍の学生は、大学を通して申請。

言語イメージンプログラムとは

科目概要と授業の特色について

言語イメージンプログラムとは、「海外集中言語研修(言語教育科目)」として実施される APU の正課科目です。海外の教育機関で集中的に学習をし、言語能力の向上を目指します。また言語学習のみならず、現地の人々との交流や現地ならではの活動を通して、異文化への理解を深めます。

プログラムは、現地で行われる言語習得を中心とした学習と APU で行われる事前授業・事後授業によって構成されています。

教育目標について

- (1) APU で提供されている言語教育科目(英語及び AP 言語科目)を補充し、当該言語の使用されている国・地域で徹底した言語訓練を施すことによって、言語の運用力を強化します。
- (2) 当該言語の使用されている地域の言語や文化、社会に対する知的好奇心をさらに高め、今後の言語学習への動機を高め、同時に言語学習と学部専攻分野での学習・研究との接点を深く考える機会とします。
- (3) 当該地域の学生・市民との交流を通じて、異文化を理解尊重し、相互理解に努める精神を養います。

科目名称、成績について

科目名： 「海外集中言語研修」(言語教育科目)

単位数： 2 単位 または 4 単位 (「言語イメージンプログラム一覧」を参照のこと)

成績評価： 通常評価 (A+、A、B、C/F)

履修登録および単位授与時期について

参加が決定した後、大学にて履修登録を行います。各セメスターにおける履修登録上限単位数の上限には含まれません。イメージン科目実施セメスター期(2013 年秋セメスター)の単位授与となります。

日程(予定)

10月2日(水)-16日(水)	: 募集期間
10月9日(水) 4限	: 募集ガイダンス
10月23日(水)	: 面接 (3 - 6 限目時間帯 (予定))
10月30日(水)	: 面接 (3 - 6 限目時間帯 (予定))
11月4日(月)午後	: 合否発表
11月13日(水)4-5限目	: アクティブラーニング・プログラム受講者ガイダンス 言語イメージンプログラム受講者初回ガイダンス
11月27日(水) 4 or 5 or 6 時限	: 第1回事前授業
12月4日(水) 5限	: 第2回事前授業
12月11日(水) 4 or 5限	: 第3回事前授業
12月18日(水) 5限	: ワークショップ



- 2014年1月15日(水) 4-5限 : 第4回事前授業、出発前テスト
 2014年1月22日(水) 4-5限 : 危機管理授業
 2014年2月5日(水) : ワークショップ
 2014年2月~3月 : 各プログラム現地実習
 2014年3月~4月 : 事後授業
 2014年6月履修登録修正期間2 : 大学より履修登録・単位授与

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは受講決定後に案内します。



受講申請について

受講対象、申請要件について

「2013 冬言語イメージプログラム一覧」に記載されていることに加え、全ての言語種で以下の要件を満たしていることが必要です。

- ・ 1~7 セメスター生であること
- ・ 実習時期の次セメスター(単位授与セメスター = 2014 年度春セメスター)が通常在籍状態であること。学籍状態が休学になる場合は受講ができません。
(早期卒業プログラムの学生の場合:最終セメスターでの申請はできません。)
- ・ プログラムの趣旨・目的を理解し、新しい環境に適応しようと努力し、海外での学習に対して意欲を持ち、真摯に学習に励む学生であること

募集ガイダンス日程 2013年10月9日(水) 4限 @F105

申請期間 2013年10月2日(水)~10月16日(水) 16:30 締切り厳守

申請書類について

- ・ 申請書類は、アカデミック・オフィス WEB サイトからダウンロードできます。
- ・ 申請書類はアカデミック・オフィスへ提出してください。

	申請書類	注意事項
1.	申請書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中国語、および韓国語プログラムは、日本語の申請書を使ってください。 ・ 上記以外のプログラムは、英語の申請書を使ってください。
2.	志望理由書	指定した言語で記入してください。
3.	パスポートのコピー	<ul style="list-style-type: none"> ・ パスポートを未取得の場合は至急申請手続きを行ってください。 ・ パスポートの有効期限が、渡航国が求める残存期間を満たしていない場合は、更新手続きを行う必要があります。(6ヶ月が目安)
4.	誓約書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 受講許可が出た場合に誓約すべき事項が書かれています。 ・ <u>学生署名欄は学生本人が記入し、保証人署名欄は保証人が記入してください。</u>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>学生本人・保証人それぞれが直筆の署名・押印をした原本を提出してください。</u> ・ <u>印鑑は学生本人・保証人と異なるものを使用してください。(国際学生の保護者については、直筆の署名のみで構いません。(押印は必要ありません))</u> ・ 学生本人と保証人の署名が直筆でない場合や筆跡が同じ、再提出を求めます。
5.	【TOEFL スコアをベースに申請する場合のみ】	言語能力を示すスコアのコピー

選考

- ・ 志望理由書を重視した書類選考と面接審査等による総合的な選考を行います。

選考期間

- ・ 以下の日程で面接を実施します。詳細は申し込み締め切り後個人伝言にて連絡しますので、予定を空けておいてください。
- ・ 面接に無断で欠席した場合は、申請の意思がないものとみなし申請が取消されます。

10月23日(水) 3 - 6 限目時間帯 (予定)

10月30日(水) 3 - 6 限目時間帯 (予定)

受講許可者発表

- ・ 2013年11月4日(月)(午後) 個人伝言にて通知します。

プログラム受講決定後(最終選考結果発表後)の受講辞退は認められません。

受講決定後に人数の変更があった場合、プログラム自体の実施が不可能になったり、あるいは他の受講者へ追加料金が課される場合があります。従って、プログラムに受講申請をした時点で大学は受講の意思があるものとして選考を行いますので、事前にプログラム内容をよく確認し、予定の調整や必要な準備をしてください。なお、プログラム受講決定後(最終選考結果発表後)に受講を辞退せざるを得ない状況が生じたとしても、所定のキャンセル費用を支払う必要があります。

個人情報の取扱いについて

申請書類に記入された個人情報は、派遣者の選考、本学からの連絡、および今後のプログラム内容の改善を図るため個人が特定されない学内統計資料の作成目的にのみ使用されます。また、派遣に関わる調整・手続き、渡航手続、保険手続を進める上で必要な情報についてのみ派遣先機関や旅行代理店および保険会社に対して提供されます。



航空券・渡航

- ・ 大学がプログラム実習日程に合わせて航空券の予約をします。(現地集合・現地解散、航空券の変更はできません)

査証(ビザ)

- ・ 派遣国・地域、または、国籍によって、渡航前にビザの取得が必要な場合があります。
- ・ ビザ申請は、プログラムによって大学が一括して取りまとめる場合と、個人で申請する場合があります。
- ・ ビザは、派遣国や本人の国籍によって申請方法が異なるほか、取得が困難な場合があります。万一、ビザが取得できない場合は、受講不可となりますが、たとえその場合でもキャンセル費用が発生することがあります。

・ **【国際学生のみ】**

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の期限についても各自確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、スチューデント・オフィスで確認してください。

保険

- ・ 大学指定の海外旅行保険および JCSOS 危機管理システム(J-TAS)への加入が必須です
- ・ 保険に関する詳細は、受講者決定後のガイダンスで説明します。



予防接種

プログラムの実施場所によって、予防接種の種類や推奨レベルが異なります。予防接種を希望する場合は、各自で予定を調整して医療機関で受診する必要があります。詳しくは、受講許可発表後に実施する「2013年 冬期アクティブラーニング・プログラム受講者ガイダンス」にて案内します。

奨学金・補助金

国内学生父母の会補助金

以下の申請をした場合は補助金が支給されます。申請方法等については該当学生に後日連絡します。

申請条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内学生で、保護者が APU 国内学生父母の会会員である。 ・ 所定の申請書を期限までに提出した場合。
申請書類	「国内学生父母の会 国内プログラム 支援申請書」
申請書提出期間	2013年12月頃(予定)
支給時期	2014年2月頃(予定)
支援金額	1人 3万円

日本学生支援機構(JASSO) 留学生交流支援制度(短期派遣) 奨学金

今回実施の言語イマージョンプログラム受講者の内、応募資格を満たす学生に対し、日本学生支援機構(JASSO)より奨学金が支給されます。詳しくは別添資料で確認してください。



確認事項

姿勢

このプログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、受講者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの受講目的をしっかりと定めてください。

プログラム参加中は、大学で定めたルールを守らなければなりません。(例 / 飲酒や自動車・バイク運転禁止、レジャースポーツの禁止等) 詳しくは、受講決定後のガイダンスで説明を行います。

派遣前後に行う事前・事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。

宿泊

大学が指定する施設・ホームステイ先以外での宿泊は認めません。

ホームステイや寮では、滞在先それぞれの規則や生活習慣に従います。

ホストファミリーやルームメイトが現地のネイティブスピーカーでないこともあります。

施設の状況によって、一部屋を個人で利用する場合や 2 名以上で共有する場合など宿泊条件が異なります。



言語イマージョンプログラムに関する問い合わせ先

- アカデミック・オフィス B 棟 1 階
- TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102